

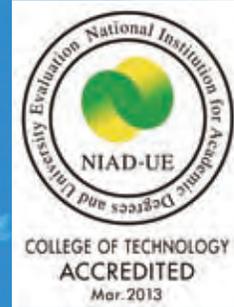
4/6	第41回入学式・第20回専攻科入学式
4/7	始業
4/30	クラスマッチ
5/9~10	IE2合宿研修
5/17	専攻科推薦入試
6/4~10	前期中間試験
6/21	専攻科学力入試(前期)
6/27~7/3	授業参観週間
6/28	保護者会、後援会総会
7/4~6	中国地区高専体育大会
7/4	専攻科休業
7/7	臨時休業
7/19	オープンキャンパス(第1回)
7/29~8/4	前期末試験
8/10~9/24	夏季休業

9/25	後期授業開始
9/26	徳山高専創立40周年記念式典
10/1~11/2	保護者会期間
10/5	高専ロボコン中国地区大会
10/8(予備日22日)	クラスマッチ
10/14~17	CA3集中測量実習
10/18~19	全国高専プログラミングコンテスト
10/18	専攻科学力入試(後期)
11/1~2	高専祭
11/1	専攻科説明会
11/8~9	全国高専デザインコンペティション
11/14~15	中国地区高専英語弁論大会
11/15	オープンキャンパス(第2回)
11/26~12/2	後期中間試験
12/13	クラブ対抗駅伝
12/20	高専女子フォーラムin中国(広島)
12/26~1/5	冬季休業
1/6	始業
1/15	学習到達度試験
1/24	推薦入試
1/24~25	全国高専英語プレゼンテーションコンテスト
2/5~13	後期末試験
2/15	学力入試
2/16~18	臨時休業
2/26~3/31	学年末休業
3/13	第37回卒業式・第19回専攻科修了式
3/23~27	再試験

2014.6.23 No.22



本校の「設計情報工学」プログラムは、日本技術者教育認定機構(JABEE)から認定を受けています。



本校は、平成24年度に独立行政法人大学評価・学位授与機構の認証評価を受け、認証評価基準を満たしていると認定されました。平成18年度に同機構による認証評価を得ており、引き続き認定されたものです。

独立行政法人国立高等専門学校機構
徳山工業高等専門学校
National Institute of Technology, Tokuyama College

〒745-8585 山口県周南市学園台

☎(0834) 29-6200 代表

学生課 / TEL (0834)29-6232 FAX (0834)29-6161

総務課 / TEL (0834)29-6208 FAX (0834)28-7605

ホームページ <http://www.tokuyama.ac.jp/>

〈最新の情報はこちらからご覧ください〉

発行 / 徳山工業高等専門学校総合企画室

発行日 / 平成26年6月23日

【交通案内】

- 徳山駅前より防長バス
「徳山高専」行き、「高専正門」下車
「久米温泉口」行き、「大学高専下」
下車、徒歩10分
- 櫛ヶ浜駅前より防長バス
「徳山高専」行き、「高専正門」下車
- 山陽自動車道徳山東インターから車で5分

ゆめふうせん
徳山高専の今

<http://www.tokuyama.ac.jp/>

徳山高専 2013.11 NEWS

高専ロボコン

全国大会で活躍したこれまでのロボット達

優勝

第26回(平成25年度)
色とりドリィ



第25回(平成24年度)
メカレオンクラブ



ベスト
4



第21回(平成20年度)
ツヨシ猿回し

第15回(平成14年度)
Side Bird
Phoenix
アイデア賞



第13回(平成12年度)
Ring you



優勝

第9回(平成8年度)
午前10時



準優勝

第4回(平成3年度)
白猫号



大賞

第12回(平成11年度)
Fly Do ポテツS



ROBOCON

先輩達の志を胸に、あきらめない気持ちで掴んだ奇跡の優勝!
(アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト2013「Shall We Jump?」)

第26回高専ロボコンの全国大会が2013年11月24日、東京の両国国技館において開催され、8ブロックの地区大会に参加した124チームから各地区の優勝と推薦により選抜された25チームが熱戦を繰り広げました。大会では激戦の末に決勝へとコマを進めた徳山高専の「色とりドリィ」と圧倒的な強さで勝ち上がった奈良高専の「じゃんぺん」との戦いとなりました。徳山のロボットは決勝まで勝ち上がるだけの能力を備えていましたが、それでも奈良のロボットには走行速度で負けていた上に、出走直前には足機構のトラブルで後ろ向きにしか動けない状態になっていました。観客のほとんどは奈良高専が優勝すると思っていたに違いありません。ところが試合が始まると、一瞬もあきらめることなく全力で競技している選手達が2つ奇跡を呼び込みました。1つ目はロボットが競技の途中で前進できるようになったこと。2つ目は相手のロボットが偶然にもセンサーの不調により、ほんの少しの間止まってしまったことです。センサーの不調は会場の照明によるものと思われませんが、私たちは先輩達が残してくれた経験談から、そのようなセンサーは使っていませんでした。このように2つの偶然と先輩達から受け



ジャンパーロボット「ドリィ」

継がれた経験に助けられ、圧倒的に不利であった状況から、史上まれに見るドラマチックな決勝戦を制して17年ぶり2度目の全国優勝を掴みました。「ロボットと仲間を信じ、最後まであきらめない」ことの大切さを学んだ心に残る大会となりました。



競技は頭だけでは勝てません。体力も必要です。



優勝に歓喜する選手達



優勝がコールされた瞬間紙吹雪が舞います



中国地区応援レポーターさんと記念撮影

ドリィのひみつ

ジャンパーロボット「ドリィ」、どんな仕組みになっているの?

WHY?



ドリィの重量は9kg。大会参加ロボットの中では2番目に軽くて小さなロボットだったよ。ジャンプ回数は最大200回を超えるんだ。

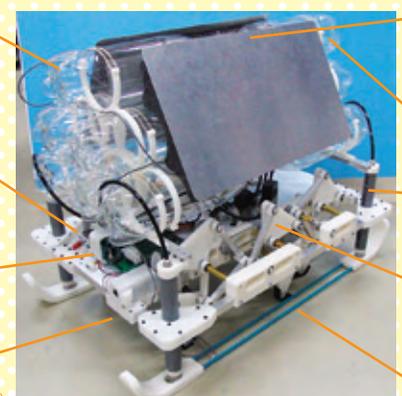


ペットボトルにおよそドラム缶1本分の空気を圧縮して貯めてあります。(ccレモン1.5ℓ用)

走行のエネルギーは、市販の充電電池(エネルギーを11本つないだもの)

制御基板は先輩が設計し、それを引き継いだもので、超高性能なヒロセボード!

白い部分のパーツは軽量化のため、家庭用3Dプリンターで製作。



縄を跳ぶタイミングをとるため、エサ(あめ玉)をここに当てて、その振動を検知します。

おしりに取り付けられた磁気センサーで動きます。

塩ビの水道管で作ったジャンプするためのエアシリンダー。

足はモーターの回転を進行方向のみに効率良く変換するためのテオ・ヤンセン式リンク。目で追えない速度で動きます。

縄に引っかからないためにスキュー形状にしたジャンプ用の足。